

令和7年度 入学教育課程表

A 表

(表 面)

教育局 胆振

北海道室蘭清水丘高等学校 全日制課程

学科 普通科

第1学年の
学 級 数

4

教科	学年		1 年	2 年	3 年	計
	科目・標準単位数	類型				
国語	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2	2			2
	論理国語	4				
	文学国語	4				
	国語表現	4				
	古典探究	4				
	○現代文総合Ⅰ	2		2		2
	○現代文総合Ⅱ	4			2～4	2～4
	○国語教養	2		0～2		0～2
	○古典基礎	2		0～2		0～2
	○古典講読Ⅰ	2			0～2	0～2
	○古典講読Ⅱ	2			0～2	0～2
	○古典研究	3			0～3	0～3
	○文章表現	2			0～2	0～2
	○発展現代文	2			0～2	0～2
地理歴史	地理総合	2	2			2
	地理探究	3			0～6	0～6
	歴史総合	2	2			2
	日本史探究	3			0～6	0～6
	世界史探究	3			0～6	0～6
公民	公共	2		2		2
	倫理	2			0～2	0～2
	政治・経済	2			0～2	0～2
	○公共発展	2			0～2	0～2
数学	数学Ⅰ	3	3			3
	数学Ⅱ	4			0～4	0～4
	数学Ⅲ	3			0～3	0～3
	数学A	2	2			2
	数学B	2			0～2	0～2
	数学C	2			0～2	0～2
	○実用数学	2			0～2	0～2
	○発展数学Ⅰ	2～7			0～7	0～7
	○発展数学Ⅱ	2～5			0～5	0～5
理科	科学と人間生活	2			0～2	0～2
	物理基礎	2			0～2	0～2
	物理	4			0～5	0～5
	化学基礎	2	2			2
	化学	4			0～5	0～5
	生物基礎	2	2			2
	生物	4			0～5	0～5
	地学基礎	2			0～2	0～2
	地学	4				
	○物理研究	2			0～2	0～2
	○化学基礎研究	2			0～2	0～2
	○化学研究	2			0～2	0～2
	○生物基礎研究	2			0～3	0～3
	○地学基礎研究	2			0～2	0～2
保健体育	体育	7～8	3	2	2	7
	保健	2	1	1		2
	○生涯スポーツ	2			0～2	0～2
芸術	音楽Ⅰ	2	2			0～2
	音楽Ⅱ	2			0～2	0～2
	音楽Ⅲ	2			0～2	0～2
	美術Ⅰ	2	2			0～2
	美術Ⅱ	2			0～2	0～2
	美術Ⅲ	2			0～2	0～2
	工芸Ⅰ	2				
	工芸Ⅱ	2				
	工芸Ⅲ	2				
	書道Ⅰ	2				
	書道Ⅱ	2				
	書道Ⅲ	2				
	○総合芸術	2			0～2	0～2

A 表

(裏面)

北海道室蘭清水丘高等学校

全日制課程

学科

普通科

教科	科目・標準単位数 類型	学年	1 年	2 年	3 年	計
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4			4
	英語コミュニケーションⅡ	4		4		4
	英語コミュニケーションⅢ	4			4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2			2
	論理・表現Ⅱ	2			2	2
	論理・表現Ⅲ	2				
	○英語教養	2		0～2		0～2
	○英語探究	2		0～2		0～2
家庭	家庭基礎	2		2		2
	家庭総合	4				
情報	情報Ⅰ	2		2		2
	情報Ⅱ	2				
	○情報研究	2			0～2	0～2
理数	理数探究基礎	1				
	理数探究	2～5				
家庭	服飾手芸	2～4		0～2		0～2
	フードデザイン	2～8		0～2		0～2
各学科に共通する各教科・科目の計			29	27～29	27～29	83～87
主として専門学科において開設される各教科・科目の計			0	0～2	0～2	0～4
学校設定教科に関する科目の計			0	0	0	0
総合的な探究の時間 (総合探究)		3～6	1	1	1	3
合 計			30	30	30	90
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3
教 育 課 程 に 係 る そ の 他 の 事 項						
卒業までに修得 させる単位数			74 単位		卒業に必要な履修 と修得の単位数	○ 1 分離している 2 分離していない
学 期 の 区 分		○	1 3学期制 2 2学期制		学期の区分ごとの 単位修得の認定	○ 1 実施している 2 実施していない
1 単 位 時 間 の 弾 力 化		○	1 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。 [1日の授業時間を()分×()時間で実施] いくつかの単位時間を組み合わせて実施する。 [1週のうち()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]と、[1週のうち ()日間を、1日当たり()分×()時間で実施]を組み合わせて実施する。 4 その他()			
学校外における学修の単位認定		○	1 実施している (④) 2 実施していない			
総合的な探究の時間の実施方法			1 週時程に位置付けて実施する。 ○ 2 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。			
備 考			・文系を希望する生徒は、2年次で古典基礎、英語教養、地学基礎を、3年次で現代文総合Ⅱ、古典研究、英語探究を必ず履修しなければならない。 ・理系を希望する生徒は2年次で数学Ⅱ、数学B、物理基礎又は地学基礎、化学、物理又は生物を、3年次で現代文総合Ⅱ、化学(継続)、物理(継続)又は生物または生物基礎研究を必ず履修しなければならない。 ・数学Ⅰ及び数学Aは、数学Ⅰ 3単位分を前半で、数学A 2単位分を後半で履修する ・数学Ⅱ及び数学Bは、数学Ⅱ 4単位分を前半で、数学B 2単位分を後半で履修する。 ・発展数学Ⅰは数学Ⅰ・Aを、発展数学Ⅱは数学Ⅱ・Bをそれぞれ履修した生徒でなければ履修できない。 ・3年次の発展数学Ⅱ(2単位)(国立理系)は、数学Ⅲを履修する生徒でなければ履修できない。 ・2年次理系の物理基礎は、物理重視者は物理基礎、物理の順で、半期で集中して履修する。 ・物理及び生物は、2、3年次で継続して履修する。 ・物理及び化学、生物は、それぞれ基礎を付した科目を履修後に履修できる。 ・物理研究及び化学研究、化学基礎研究、生物基礎研究、地学基礎研究は、それぞれ物理基礎及び化学基礎、生物基礎、地学基礎科目を履修後に履修できる。 ・発展数学以外のⅠ、Ⅱ、Ⅲを付した科目については、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの履修順序とする。 ・2年次で音楽Ⅱ又は美術Ⅱ又は古典講読Ⅰを履修した生徒は、3年次では履修できない。			

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。